

平成29年度前期芦安中学校学校関係者評価書

平成29年 9月 5日

芦安地区学校関係者評価委員会作成

1 経過

第1回芦安地区学校関係者評価委員会

日 時：平成29年8月30日(水) 19:00～20:30

場 所：芦安中学校 多目的ホール

2 参加者 評価委員7名

No.	氏 名	役 職 名		備考
1	伊東 隆雅	芦安地区保護司 白雲荘経営		
2	佐々木 健	芦安小中学校PTA副会長		副委員長
3	清水 准一	学校評議委員 NPO 法人芦安ファンクラブ事務局長		
4	清水 実	芦安子を守る会会長		
5	深澤 米男	南アルプス市議会議員		
6	三井 孝司	芦安窓口サービスセンター長		
7	森本 章雄	芦安地区学校応援団代表		
8	名取 昭彦	芦安小学校	校長	
9	樋川 和之		教頭	事務局
10	興石みさを		教務主任	
11	石原 敬彦	芦安中学校	校長	
12	丹澤 博		教頭	事務局
13	早川 武浩		教務主任	

3 学校から提案された内容

[前期中学校自己評価の分析と改善方策]

- (1) 前期(7月)職員アンケート結果
- (2) 前期(7月)生徒アンケート結果
- (3) 芦安中学校教前期自己評価書
- (4) その他

4 協議された主な内容

- (1) 学校の様子全般についての意見・質問
- (2) 前期アンケート結果についての意見・質問
- (3) 芦安小中一貫校の取組について 意見・要望

5 評価委員会で出された主な意見・質疑

(1) 学校の様子について

①地域行事「新緑やまぶき祭」では中学生がインタビュー等で活躍してくれた。

→引き続き地域の一員として地域行事に参加させたい。「言語活動の充実」の取組の一つとして、生徒一人一人に質問項目や話し方を考えさせて「新緑やまぶき祭」のインタビューに取り組んだが、地域の方から評価されて本校生徒も喜んでいる。今後もこのような場を与えていただきたい。

②地区外の生徒には、市バスの利用を勧めて欲しい。

→保護者との連携の中で推進していきたい。教育委員会の規定に則って、対応したい。

③芦安では特色のある教育が展開されている。全校登山や英会話科等、更に、特色を出して行って欲しい。

→伝統的な行事や英会話科等、本校の特色を更に高めていくことは学校の使命であると考え、改善を図りながら、推進していきたい。

④不登校が解消して全員が登校していることは良いことだが、どのような取り組みをしたのか。

→生徒や保護者との相談活動を密に行う。個別の学習指導や生活指導を行う。などの対応をしました。

⑤芦安の生徒は良く挨拶をしてくれる。これからも継続指導して欲しい。

(2) 前期アンケート等に対する質問

①地区外からの通学者は何人いるのか。

→在籍17名中、地区外は7名です。

②携帯・スマホの所持率はどうなっているか。

→在籍17名中、自分の携帯・スマホを持っている生徒11名です。

学校に携帯を持ってきているのか。

→持ってきていません。

③相談できる先生がいないと回答している生徒がいる。次回の調査ではゼロにして欲しい。

→非常に大切なことなので、真摯に受け止めたい。日々のふれあい・指導を通して、また、生徒と教師が一体となって活動する等の取組を通して、全員が相談しやすい環境をつくっていききたい。

④防災についての項目が中学校にはないが、取組をしているのか。

→抜き打ちの訓練を含め、課題が見つかる訓練を年4回行っている。訓練後は振り返りを行い、自らの命は自ら守れる態度を育てています。

(3) 芦安小中一貫校の取組について

①地域としても一個人としても協力していきたい。

②芦安小中学校の良さは地域との近さだと思う。子どもが卒業しても学校に関わっていききたい。

地区外の保護者とも積極的に関わっていききたい。

③小中連携はどれくらい進んでいるのか。

→行事（新緑やまぶき祭・学校林植樹・合同引き取り訓練・合同救命法講習会・芦安文化祭・焼きいも大会・ハロウィンパーティー・連続性のある登山等の自然体験活動）、合同PTA活動、英会話活動での連携等、非常に進んでいる。これに加え、2学期からは毎月、合同校内研を行い、小中一貫校への準備を進めているところである。

④小中一貫校への展望を教えて欲しい。

→平成30年度には渡り廊下を建設し、小中学校を接続。平成31年度には小中一貫校としてスタートをする予定である。また、市教委では平成32年度以降、できるだけ近いうちに新たな学校のスタイルである義務教育学校にしたいと考えているようだ。

6 分析・評価

芦安地区学校関係者評価委員会において、「わかりやすい授業づくり」「楽しい学校生活」については参考資料である教職員アンケートや生徒アンケートの評価が昨年度同様に高く、年度途中ではあるが成果をあげていることが確認できた。2学期以降、更に今の取組を推進したい。一方、アンケートの評価は高いが、昨年度同期に比べてより数値がやや低くなった「合唱」「英会話科への取組」については計画的に研究・研修の場を設け、職員全員の力を結集して、2学期以降取り組んでいく確認をした。特に、「英会話科」については、生徒一人一人の力を更に伸ばしていきたい。また、「家庭学習の充実」など保護者と連携しながら取り組んでいく項目も確認できた。一人一人の生徒を大切にしたい「きめ細かな指導」を柱に更に芦安中教育の推進に努めていきたい。